

# はつらつ レポート

NO.165 2018年8月15日号  
発行責任者：若林裕子



政治は生活を豊かにするツール

## 八王子・ 生活者ネットワーク

〒192-0066 東京都八王子市本町3-4 TRYビル3階 HP : hachiouji.seikatusha.me  
TEL : 042-623-8802 FAX : 042-627-4507 mail : hachiouji-net@nifty.com

生活者ネットワーク  
3つのルール

- 1 議員は2期8年でローテーション
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティアで

### 「化学物質」から守る

市内でも化学物質過敏症に苦しんでいる方がいます。頭痛、めまい、吐き気、ひどい時には呼吸困難など引き起こしてしまいます。いつだれが発症するかわかりません。特に大人よりも影響を受けやすい子どもたちの身の回りの化学物質を少しでも減らしていくことが重要です。公共施設内に過敏症の方が過ごせる安全な空間の確保、化学物質配慮マニュアルの作成を求めていました。また学校で使用されている手洗い石けん、床ワックスの使用についても注意をはらうよう求めました。

### 「農薬」「食品添加物」「遺伝子組み換え食品」から守る

小学校給食、保育園給食、学童保育のおやつなどに使われている食材が安全なものなのか、子どもたちが毎日口にするものの中身を確かめる必要があります。現在、「政策ゼミPART6」のテーマにし、アンケート調査などを実施中です。

### 「放射能」から守る

色も臭いもない放射能の影響は測定して知るしかありません。原発事故後はすぐに測定を求めました。現在の放射線量の値は落ちていますが、いつ拡散するかわからないものに対する対策として測定を継続していくことが重要です。現在も学校給食の食品放射線量測定を実施、空間線量の定点測定を実施しています。また、生活者ネットワークの事務所でも空間放射線量測定器の貸し出しを行っています。

### 「除草剤、殺虫剤」から守る

学校内でも除草剤や殺虫剤を使用することがあります。子どもたちがいない時間に散布しているとのことです。学校は避難所にもなる場所、いつでも使えるようにしておかなければなりません。学校で除草剤や殺虫剤を極力使わないよう求めました。

### 「香害」から守る

香りのついた洗剤や柔軟剤やシャンプー、香水など他人の香りで気分が悪くなることがあります。これは化学合成された香料の身体への影響によるものです。多くの子どもと接する先生方への注意喚起や、市民への周知啓発を求めて、消費生活センターがポスターを作成し、公共施設に掲示されました。

### 「ワクチンの副反応」から守る

子宮頸がんワクチンの問題では、重篤な副反応を起こした市内中学生の救済と、ワクチン接種の中止を求めていました。むやみにワクチン接種を勧めるのではなく、定期接種が増えたことによる両腕同時接種のリスクなど、リスクと効果の正確な情報を提供し、自己選択ができるように求めています。

# 見えない害から子どもを守る！

八王子・生活者ネットワークはこれまで有害化学物質などの子どもたちへの影響を重視し、未然防止の考え方も合わせ、子どもたちが安心して暮らせる生活環境づくりを求めてきました。前田よし子、なるみゆりの議会質問や予算要望など様々な機会に「子ども基準」で八王子市に提案してきたことをまとめました。



### はつらつタイム

10月2日(火)  
14:00～16:00

場所：カフェこすもす  
八王子市片倉町440-15  
JR片倉駅徒歩3分  
京王片倉駅徒歩5分

なるみ  
ゆりと  
話そう



4/15 (株)日本フードエコロジーセンター見学  
(食品リサイクル→豚のリキッド飼料)  
(市民団体と共に)



6/22 福祉部会  
センテナル町田(サ高住)見学



4/27 ウィークエンドフォーラム  
デンマークのお話



6/27 政策ゼミ  
八王子市立市役所内保育園見学

### はつらつ4コマ

作：なるみゆり  
「ニュースの表と裏」



